



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日

上場会社名 株式会社京写 上場取引所 東
 コード番号 6837 URL <https://www.kyosha.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児嶋 一登
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 平岡 俊也 (TEL) 075-631-3193
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2023年3月期第3四半期	18,110	14.7	447	△2.4	417	△14.9	184	△30.9
2022年3月期第3四半期	15,793	26.2	458	—	490	—	266	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,566百万円(119.0%) 2022年3月期第3四半期 715百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	12.85	—
2022年3月期第3四半期	18.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2023年3月期第3四半期	24,862	8,910	34.9
2022年3月期	20,894	7,395	34.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 8,667百万円 2022年3月期 7,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	23,000	7.8	700	46.2	630	22.7	360	24.5	25.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	14,624,000株	2022年3月期	14,624,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	229,487株	2022年3月期	294,287株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	14,361,498株	2022年3月期3Q	14,329,713株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社が属するプリント配線板業界は、国内外共に経済活動の正常化が進み、概ね堅調に推移しましたが、依然として半導体不足や急激な為替変動による原材料、エネルギー価格の高騰が続いていることから、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループの国内の状況は、実装関連事業では、産業機器や通信機器向けの受注が回復基調で推移したものの、プリント配線板事業では、主力の自動車関連分野で半導体や部品不足による生産調整の影響が続き、受注が低迷した結果、国内の売上高は前年同四半期を下回りました。

海外においては、自動車関連分野を中心とした新規顧客と新商品の売上が寄与し、事務機分野の受注も中国、インドネシアで好調に推移しました。また、前期に稼働したベトナムは引き続き順調に推移し、自動車関連分野を中心に大幅に売上を伸ばしました。これらの結果、連結売上高は18,110百万円（前年同四半期比14.7%増 2,317百万円の増収）となりました。

利益面は、ベトナム子会社や実装関連事業の業績が大きく改善したものの、国内の自動車生産調整の影響と、主材料等の価格や電力料等の製造経費が高騰した結果、営業利益は447百万円（前年同四半期比2.4%減 10百万円の減益）、経常利益は417百万円（前年同四半期比14.9%減 72百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は184百万円（前年同四半期比30.9%減 82百万円の減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金の増加1,376百万円、受取手形及び売掛金の増加608百万円、有形固定資産の増加1,383百万円等により、24,862百万円（前連結会計年度末比3,968百万円の増加）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、主に支払手形及び買掛金の増加143百万円、短期借入金の増加238百万円、長期借入金の増加1,912百万円等により、15,952百万円（前連結会計年度末比2,453百万円の増加）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金の増加112百万円、為替換算調整勘定の増加1,380百万円等により、8,910百万円（前連結会計年度末比1,515百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、2022年10月28日発表からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,299	4,675
受取手形及び売掛金	3,904	4,512
電子記録債権	980	887
製品	2,078	2,601
仕掛品	580	660
原材料及び貯蔵品	1,756	1,512
その他	1,121	1,433
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	13,715	16,280
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,823	5,304
減価償却累計額	△3,242	△3,577
建物及び構築物（純額）	1,580	1,726
機械装置及び運搬具	9,760	11,098
減価償却累計額	△6,578	△7,458
機械装置及び運搬具（純額）	3,181	3,640
土地	724	724
建設仮勘定	198	807
その他	1,490	1,786
減価償却累計額	△1,007	△1,133
その他（純額）	483	653
有形固定資産合計	6,168	7,552
無形固定資産	31	24
投資その他の資産		
投資有価証券	579	607
繰延税金資産	84	69
その他	316	330
貸倒引当金	△0	△2
投資その他の資産合計	979	1,005
固定資産合計	7,178	8,582
資産合計	20,894	24,862

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,597	2,741
電子記録債務	900	891
短期借入金	4,489	4,728
1年内返済予定の長期借入金	476	444
リース債務	46	45
未払法人税等	204	282
賞与引当金	201	185
その他	759	874
流動負債合計	9,675	10,193
固定負債		
長期借入金	3,210	5,123
リース債務	71	63
退職給付に係る負債	417	421
その他	123	151
固定負債合計	3,824	5,759
負債合計	13,499	15,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,172	1,186
利益剰余金	4,204	4,317
自己株式	△33	△25
株主資本合計	6,446	6,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83	58
繰延ヘッジ損益	△51	△75
為替換算調整勘定	733	2,114
退職給付に係る調整累計額	△22	△11
その他の包括利益累計額合計	742	2,086
非支配株主持分	205	243
純資産合計	7,395	8,910
負債純資産合計	20,894	24,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	15,793	18,110
売上原価	13,200	15,205
売上総利益	2,592	2,905
販売費及び一般管理費	2,133	2,457
営業利益	458	447
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	4	6
仕入割引	13	16
受取手数料	9	5
雇用調整助成金	70	28
雑収入	12	33
営業外収益合計	114	94
営業外費用		
支払利息	43	98
為替差損	30	24
売上債権売却損	4	2
雑損失	4	—
営業外費用合計	83	124
経常利益	490	417
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	1	5
固定資産除却損	7	10
その他	0	0
特別損失合計	9	15
税金等調整前四半期純利益	481	403
法人税、住民税及び事業税	227	221
法人税等合計	227	221
四半期純利益	253	181
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	266	184

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	253	181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△24
繰延ヘッジ損益	△20	△23
為替換算調整勘定	463	1,421
退職給付に係る調整額	10	10
その他の包括利益合計	461	1,384
四半期包括利益	715	1,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	712	1,528
非支配株主に係る四半期包括利益	2	37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。